



みたけさん

第14号

令和7年9月1日発行

発行 三 嶽 神 社

編集 権禰宜 新山敏彦

ホームページ <https://mitakejinja.com>



昨年の例大祭神事の模様



例 大 祭 に あ た り

三嶽神社宮司 新 山 敏 春

総代長 高 橋 初 雄

今年も暑い日が続きました。気温が40℃を超えた地域もあり、近年の急激な温暖化が懸念されるところです。また雨量も少なく、水不足も心配されましたが、稲に穂が付き、頭（こうべ）が垂れ、間もなく収穫の秋を迎えようとしています。収穫まで気を抜けないものと存じますが、質・量ともに期待通りの秋を迎えられますようご祈念申し上げます。

さて、9月12日（金）は三嶽神社の例大祭です。その神事では、神さまのご神徳を称え、皇室のご安泰、氏子・崇敬者の繁栄、五穀豊穡などが祈られます。そして本来であれば、夕刻より神賑わい行事として、有志の団体や個人による芸能が奉納されるところですが、今年から3年間は「花巻まつり」と日程が重なることから、やむを得ず前例に倣い、今年は奉納芸能を見送ることと致しました。芸能を披露すべく準備されていた方や、観覧を楽しみにしていた方には心よりお詫び申し上げます。

奉納芸能は、お祭りを賑々しく行うことにより、大神さまのご神威の発揚と、次代を担う子供たちに祭りを楽しんでいただくことを願って開催しているものですので、来年以降の開催につきましては、例祭日の変更や地域事情等を考慮しつつ検討して参りたく存じます。皆さま方におかれましても、地域の総代や三嶽神社ホームページのお問い合わせフォームにてご意見をお聞かせいただければ幸いです。

三嶽神社は願いの場であるとともに、皆さまのコミュニティーの場であり続けるよう努めて参りますので、引き続き当社の運営にご理解とご協力を賜われますよう、切にお願いを申し上げます。



氏神さまへ七五三詣りに行こう！

間もなく七五三詣りの時期を迎えます。お子さまがこれまで無事に育ったことを氏神さまに感謝し、これからの健やかな成長をお祈りしてみませんか？

七五三は日本古来の行事です。昔は子どもが健康に成長することが難しかったので、3歳（髪置（かみおき）の儀）、5歳（袴着（はかまぎ）の儀）、7歳（帯解（おびとき）の儀）のときにお祝いするようになったとされています。

祈願の時期は11月15日前後に行うのが一般的ですが、県内では寒さが厳しくなる前の、10月初旬から11月中旬を目途に行うことが多いようです。三嶽神社の氏子地域にお住まいのお子さまには、日々お守りいただいている神さまの前でご祈願されますようご案内申し上げます。

ご祈願のご予約は下記までお願いします。

お問合せ 三嶽神社社務所

TEL 090-8788-5530（三嶽神社権禰宜 新山敏彦）



奉納御礼

7月1日から8月31日迄の「夏詣」に際し、晴山建築様（晴山重男代表）より提灯スタンドを奉納いただきました。謹んで御礼申し上げます。



拝殿根田修理奉賛御礼

拝殿床下の根田修理に際し、下記の通り奉賛金の拠出を賜りました。謹んで御礼申し上げます。（合計1,444,000円）

記

各自治会より 1,104,000円

工沢、西中、三岳、石持、巾下、西一区

宮司・総代より 340,000円（各20,000円）（以下、敬称略）

新山敏春、菊池長吾、晴山重男、葛尾定治、川上義雄、佐藤幸機、

藤井善光、高橋初雄、駿河正憲、駿河修、牛崎政雄、牛崎祐正、

畠山俊彰、村上美津雄、鎌田剛、宮本幹夫、阿部義昭

篤志寄付者より 40,000円（工沢自治会の奉賛金に含む）

冨手壮一、大野宣和

季節のご朱印

ご好評を戴いております「季節のご朱印」。9月は野山に咲く美しい花を鑑賞し、季節を感じて慈しむ「秋の七草」、10月は黄金色に輝く「稲穂」と秋を告げる「とんぼ」です。

日本の文化や伝統行事、食べ物や風景をあしらった、季節が感じられるご朱印ですので、参拝の際に是非拝受をお申し出下さい。



9月

10月